

独立行政法人放射線医学総合研究所と韓国原子力医学院との 覚書の締結について

平成16年11月30日
放射線医学総合研究所

1. 独立行政法人放射線医学総合研究所（以下「放医研」という。）と韓国原子力医学院（Korea Institute of Radiological and Medical Sciences。以下「KIRAMS」という。）は、2002年以來、緊急被ばく医療に係る人材育成に関し、覚書に基づく協力を行ってきたところ。
2. 今般、KIRAMSの組織改革により覚書改訂の必要が生じたことに伴い、KIRAMSから放医研に対し研究協力分野等の拡大についての要請があり、両機関間でより包括的な協力に関する覚書を締結することとしたもの。
覚書の署名は、本年11月16日（火）の呉明（オ・ミョン）大韓民国副総理兼科学技術部長官の放医研訪問に併せて、同副総理立会いの下、放医研佐々木康人理事長及びKIRAMS李水用（リー・スーヨン）院長により行われた。
3. 覚書の概要は以下のとおり。
 - 【協力分野】
 - ・ 緊急被ばくの医療体制
 - ・ 放射線腫瘍学及び核医学
 - ・ 医学物理及び加速器物理
 - ・ その他相互に合意される分野
 - 【活動形態】
 - ・ 科学的情報の交換
 - ・ 科学者及び専門家の人的交流
 - ・ 職員の研修
 - ・ その他相互に合意される協力
 - 【有効期間】
 - 署名日より5年間

(参考)

韓国原子力医学院の概要

韓国原子力医学院 (Korea Institute of Radiological & Medical Sciences; KIRAMS) は Ministry of Science & Technology の下に、Korea Atomic Energy Research Institute (KAERI) の下部組織として存在し、韓国ソウル市郊外に位置する。歴史的には、1963 年に設立された Radiological Research Institute の下に 1968 年に Cancer Hospital が開院し、この病院が 2003 年に現 KIRAMS に改組された。

現在 KIRAMS の組織は、3つのセンター

- ① Korea Cancer Center Hospital (KCCH) : 原子力病院
- ② Radiological & Medical Research Center : 放射線医学研究中心
- ③ National Radiation Emergency Medical Center : 国家放射線非常診療中心

を研究・現業部門として持ち、管理部門として Div. of Planning と Div. of Administration を擁する。

2004 年 10 月現在職員数は 988 名であり、そのうち Medical staff 及び Paramedical Staff が 595 人を占める。年間予算は、US\$ 101million (Year 2004) 程度であり、このうち政府からの直接資金は約 10% であり、約 70% を病院収入によっている。

放射線医学総合研究所と韓国原子力医学院の交流実績

平成 14 年 4 月以降締結式前までの

韓国原子力医学院より放医研への来所者 : のべ 15 名

放医研より韓国原子力医学院への訪問者 : 7 名